

気象庁発表の1か月予報では今後高温が予報されており、収穫期の前進が予想されます。
高温時には玄米の成熟よりも帯緑色粳の減少が遅れることがあるため、刈り遅れないよう粳水分を確認し、25%になったら収穫を開始しましょう。

- 5月1日植「コシヒカリ」の8月27日(出穂後37日)現在の状況
- ・粳水分は23.9%と25%を下回っています。出穂期～測定前日までの積算気温も1012℃と収穫適期の目安に達しています。
 - ・写真のとおり玄米の登熟は進んでいます。
 - ・今後数日は雨天が予報されています。降雨により収穫適期を逸しないよう天気予報を確認し、速やかに収穫作業を行いましょう。
- 降雨後は、粳や茎葉が乾いてから収穫作業を実施し、倒伏や登熟ムラの大きい箇所は刈り分けを行いましょう。
- * 5月1日植「コシヒカリ」の情報提供は今回で終了します。

粳水分測定結果(玉井試験場内ほ場)

移植期・品種	出穂期		測定日			
			8月17日	8月20日	8月24日	8月27日
5月1日植 コシヒカリ	7月21日	出穂後日数(日)	27	30	34	37
		出穂期～測定前日までの積算気温(℃)	729	812	923	1012
		粳水分(%)	28.0	26.6	25.6	23.9
		帯緑粳割合(%)	65	49	27	13

* (参考) 早期栽培コシヒカリの収穫適期の目安
登熟積算気温950～1150℃、帯緑粳割合15～10%

*積算気温にはアメダス(熊谷)の日平均気温を使用しているが、
8月25日、26日に欠測値があるためこの期間は鳩山の値を使用



○5月1日植「コシヒカリ」、出穂後37日(8月27日)の玄米(篩目1.8mm)